



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年2月5日

上場会社名 バンドー化学株式会社 上場取引所 東・大
 コード番号 5195 URL http://www.bando.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷 和義
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 大嶋 義孝 TEL 078-304-2920
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	64,579	△1.4	3,008	△8.5	3,431	9.3	1,919	351.8
24年3月期第3四半期	65,508	2.8	3,288	△22.1	3,138	△25.9	424	△86.3

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 2,141百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 △1,131百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	20.20	—
24年3月期第3四半期	4.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	77,988	40,116	50.5	418.65
24年3月期	79,659	39,443	48.4	401.95

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 39,401百万円 24年3月期 38,559百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
25年3月期	—	4.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	84,500	△2.2	3,900	△14.7	4,200	△4.4	1,900	31.9	20.19

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 有
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	96,427,073株	24年3月期	96,427,073株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	2,311,435株	24年3月期	497,936株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	95,022,070株	24年3月期3Q	97,403,508株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信【添付資料】3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国において自動車販売台数の増加や失業率の改善、住宅着工件数の改善など緩やかな回復基調が見られるものの、欧州においては債務危機による景気低迷が長期化し、中国やインドなどの新興国においては成長に陰りが見られるなど、総じて先行きの不透明感が強まるなかで推移いたしました。また、国内経済は震災復興需要による景気の下支え効果はあったものの、エコカー補助金の終了による反動などで個人消費が伸び悩んだことに加え、長引く円高による輸出環境の悪化とともに、日中間の摩擦により中国向け輸出が減少するなど、世界経済の不透明感と相まって厳しい状況で推移いたしました。

当社グループを取り巻く経営環境につきましては、世界経済の減速や、中国における日本車を含む日本製品の買い控えに加え、新規の設備投資の抑制や交換需要の低迷など、極めて厳しい状況で推移いたしました。

このような経営環境のもと、当社グループは、本年度が最終年度となる中期経営計画である“DOING MORE on the new frontier 2nd stage”の経営目標を達成すべく、国内外市場での販売拡大やコスト競争力の強化に注力するとともに、需要変動に応じて機敏かつ柔軟に各種の施策を鋭意展開してまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は645億7千9百万円（前年同期比1.4%減）、営業利益は30億8百万円（前年同期比8.5%減）となったものの、経常利益は34億3千1百万円（前年同期比9.3%増）、四半期純利益は19億1千9百万円（前年同期比351.8%増）となりました。

なお、セグメントの業績は、次のとおりであります。

[伝動事業]

自動車用伝動ベルト製品：補機駆動用伝動ベルトにつきましては、北米、東アジアで販売が拡大いたしました。国内の販売は前年同期に比べ減少いたしました。補機駆動用伝動システム製品につきましては、前年度にタイの洪水の影響で減少していたオートテンショナ、一方向クラッチ内蔵プーリー（バンドー・スムーズ・カップラー）などの販売は東南アジア向け輸出で拡大し、前年同期に比べ増加いたしました。

一般産業用伝動ベルト製品：産業機械用Vベルトにつきましては、アジア市場においては前年同期水準でありましたが、国内、北米および欧州での販売が前年同期に比べ減少いたしました。

これらの結果、当事業の売上高は412億3千8百万円（前年同期比1.7%増）、セグメント利益は25億5千6百万円（前年同期比12.6%減）となりました。

[マルチメディアパーツ事業]

マルチメディアパーツ事業につきましては、欧州経済の低迷が長期化している影響を受け、電子写真出力機器メーカーの生産が落ち込み、クリーニングブレード、精密ベルト等の販売が前年同期に比べ大幅に減少いたしました。

これらの結果、当事業の売上高は60億5千1百万円（前年同期比13.0%減）、セグメント損失は1億3千2百万円（前年同期はセグメント損失2億9百万円）となりました。

[産業資材事業]

産業資材事業につきましては、主力製品であるコンベヤベルト、樹脂コンベヤベルト（サンラインベルト）の販売が前年同期に比べ増加いたしました。特に、国内において当社の特長製品である急傾斜用コンベヤベルトの販売が大幅に増加いたしました。しかしながら、鉄道軌道製品などの販売が大幅に減少いたしました。

これらの結果、当事業の売上高は130億2千8百万円（前年同期比2.1%減）、セグメント利益は6億8千6百万円（前年同期比130.6%増）となりました。

[化成品事業]

化成品事業につきましては、装飾表示用フィルムは前年同期水準でありましたが、合皮をはじめとする工業用フィルムの販売は前年同期に比べ大幅に減少いたしました。また、医療関連では、顧客の生産が減少した影響を受け、医療用フィルムの販売が前年同期に比べ大幅に減少いたしました。

これらの結果、当事業の売上高は34億1千2百万円（前年同期比8.2%減）、セグメント利益は1千2百万円（前年同期比88.9%減）となりました。

[その他事業]

その他事業につきましては、金属ナノ粒子の製造・販売などの新規事業のほか、ロボット関連デバイス事業やゴルフ場の経営などを行っておりますが、当事業の売上高は11億2千3百万円（前年同期比26.1%減）、セグメント利益は8千3百万円（前年同期比38.1%減）となりました。

なお、セグメントの業績については、セグメント間取引消去前の金額で記載しております。

(2) 連結業績予想に関する定性的情報

長期化する欧州経済低迷の影響、中国における自動車メーカーの一時的な減産やOA機器メーカーの更なる減産の影響、不透明な経済状況に伴う設備投資抑制による国内機械設備メーカーの減産などの影響を総合的に検討いたしました結果、通期業績予想が前回公表した予想を下回る見込みであるため、平成25年3月期の通期業績予想を以下の通り修正いたします。

平成25年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	85,000	5,000	5,000	3,200	34.00
今回発表予想 (B)	84,500	3,900	4,200	1,900	20.19
増減額 (B-A)	△500	△1,100	△800	△1,300	
増減率 (%)	△0.6	△22.0	△16.0	△40.6	
(ご参考) 前期実績 (平成24年3月期)	86,372	4,570	4,391	1,440	14.84

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社および国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,121	10,991
受取手形及び売掛金	17,495	16,480
商品及び製品	6,499	5,917
仕掛品	1,381	1,383
原材料及び貯蔵品	2,014	2,161
繰延税金資産	362	383
その他	1,677	2,147
貸倒引当金	△30	△27
流動資産合計	40,521	39,436
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,538	9,273
機械装置及び運搬具（純額）	9,223	8,867
土地	6,865	6,302
建設仮勘定	1,562	2,223
その他（純額）	1,195	1,070
有形固定資産合計	28,385	27,737
無形固定資産		
ソフトウェア	960	804
その他	309	183
無形固定資産合計	1,270	987
投資その他の資産		
投資有価証券	7,371	7,985
繰延税金資産	878	613
その他	1,337	1,350
貸倒引当金	△106	△122
投資その他の資産合計	9,481	9,826
固定資産合計	39,137	38,551
資産合計	79,659	77,988

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,209	14,545
短期借入金	4,761	4,771
未払法人税等	358	465
その他	5,374	5,427
流動負債合計	26,704	25,209
固定負債		
長期借入金	6,834	6,100
社債	3,000	3,000
退職給付引当金	2,153	2,076
その他	1,522	1,485
固定負債合計	13,511	12,661
負債合計	40,215	37,871
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,951	10,951
資本剰余金	3,537	3,537
利益剰余金	30,170	31,329
自己株式	△161	△657
株主資本合計	44,498	45,160
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	475	620
為替換算調整勘定	△6,415	△6,378
その他の包括利益累計額合計	△5,939	△5,758
少数株主持分	884	715
純資産合計	39,443	40,116
負債純資産合計	79,659	77,988

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	65,508	64,579
売上原価	48,184	47,657
売上総利益	17,324	16,921
販売費及び一般管理費	14,035	13,913
営業利益	3,288	3,008
営業外収益		
受取利息	35	44
受取配当金	116	93
持分法による投資利益	439	451
その他	187	410
営業外収益合計	779	1,000
営業外費用		
支払利息	240	186
その他	689	391
営業外費用合計	929	577
経常利益	3,138	3,431
特別利益		
固定資産売却益	9	5
その他	—	0
特別利益合計	9	5
特別損失		
減損損失	514	305
固定資産除却損	203	—
その他	667	85
特別損失合計	1,385	390
税金等調整前四半期純利益	1,762	3,045
法人税、住民税及び事業税	695	923
法人税等調整額	591	164
法人税等合計	1,287	1,088
少数株主損益調整前四半期純利益	475	1,956
少数株主利益	50	37
四半期純利益	424	1,919

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	475	1,956
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△312	147
為替換算調整勘定	△1,085	83
持分法適用会社に対する持分相当額	△208	△46
その他の包括利益合計	△1,606	184
四半期包括利益	△1,131	2,141
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,162	2,099
少数株主に係る四半期包括利益	30	41

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計
	伝動事業	マルチメディア パーツ事業	産業資材事業	化成品事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	40,446	6,955	13,291	3,702	64,396	1,111	65,508
セグメント間の内部 売上高又は振替高	109	1	22	16	149	408	557
計	40,555	6,956	13,314	3,719	64,546	1,519	66,066
セグメント利益 又は損失(△)(注2)	2,924	△209	297	109	3,122	134	3,257

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主として新規事業であります。
 2. セグメント利益について、新算定方法に組み替えて表示しております。これにより、従来の算定方法に比べて、伝動事業において1,983百万円、マルチメディアパーツ事業において684百万円、産業資材事業において693百万円、および化成品事業において209百万円、それぞれセグメント利益が減少しております。算定方法の変更の内容につきましては、「II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)」の「3. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照下さい。

2. 報告セグメントの利益または損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,122
「その他」の区分の利益	134
全社費用(注)	96
その他の調整額	△65
四半期連結損益計算書の営業利益	3,288

- (注) 全社費用は、各報告セグメントに配賦した一般管理費および研究開発費の予定配賦額と実績発生額との差額であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	伝動事業	マルチメディア パーツ事業	産業資材事業	化成品事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	41,138	6,050	13,008	3,411	63,608	970	64,579
セグメント間の内部 売上高又は振替高	99	0	20	1	122	153	276
計	41,238	6,051	13,028	3,412	63,731	1,123	64,855
セグメント利益 又は損失(△)	2,556	△132	686	12	3,122	83	3,205

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主としてロボット関連デバイス事業他であります。

2. 報告セグメントの利益または損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,122
「その他」の区分の利益	83
全社費用(注)	△166
その他の調整額	△31
四半期連結損益計算書の営業利益	3,008

(注) 全社費用は、各報告セグメントに配賦した一般管理費および研究開発費の予定配賦額と実績発生額との差額であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの利益または損失の測定方法の変更)

当社の本社および研究開発に係る費用等の全社費用につきましては、前連結会計年度まで各報告セグメントに配賦しておりませんでした。業績管理体制の見直しにより、第1四半期連結会計期間より一定の配賦率を用いて各報告セグメントに配賦する方法に変更しております。

前年同期の新算定方法ベースの組替数値につきましては、「Ⅰ 前第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）」の「1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報」に記載しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

「その他」の区分の事業用資産について、回収可能価額が帳簿価額を下回ったため、当第3四半期連結累計期間において、減損損失305百万円を計上しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年8月3日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、東京証券取引所の自己株式立会外買付取引（ToSTNeT-3）により自己株式を取得することを決議し普通株式1,800,000株を取得いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が493百万円増加しております。

4. 補足情報

[海外売上高]

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

	アジア	その他	計
I 海外売上高(百万円)	20,485	5,794	26,279
II 連結売上高(百万円)			64,579
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	31.7	9.0	40.7

- (注) 1. 海外売上高は、当社および連結子会社の日本以外の国または地域に対する売上高であります。
 2. 国または地域の区分の方法および各区分に属する主な国または地域は、次のとおりであります。
- (1) 国または地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。
- (2) 各区分に属する主な国または地域
- アジア……………中国、タイ、韓国、インドネシアほか
 その他……………米国、ヨーロッパ、オセアニア、中南米ほか